

コスモス男山 2024年度 第2回運営推進会議報告

日 時： 2024年7月22日（月）午後1時30分～2時45分

場 所： おいでやすコスモス103

出席者		内容	
利用者家族	1名	地域住民	3名
包括支援センター	2名	職員（理事長・	3名
介護保険オンブズマン	1名	事務局長・事務局員）	
高齢介護課	1名	合計	12名
民生児童委員	1名	欠席者	2名

1.現況報告	資料①に添って、事務局長が説明
概要	<ul style="list-style-type: none"> 利用者さんが20名以下（定員29名）となり、経営的に難しい状況 要因として、長年利用されていた方がお亡くなりになったり、家庭の事情で他施設へ入所されたり等 利用者さんの介護度は要介護2の方が多く 介護度問わずご利用者数を増やしていかなければならない

2.前回以降の活動と今後の予定	資料②に添って、事務局長が説明
	<ul style="list-style-type: none"> BCP策定委員会月2回開催 災害・感染症流行時にできるだけ業務を継続できるようにしたい わかたけ保育園との地域交流 コロナ過で途絶えていたので数年ぶりに開催できた 6歳児の園児さんが大勢来訪され、歌を歌ってくださり交流を楽しんだ。外部との交流は刺激になり利用者さんにも喜んでもらえるので今後も継続していきたい 「喫茶おいでやす」が『食品衛生優良施設』として表彰された 食中毒予防等に日頃から務めている努力が認められ衛生管理を高く評価していただいた 「喫茶おいでやす」は外部の方々にも利用していただき居場所づくりの拠点の場にもなっている シェイクアウト訓練 地震時にヘルメット、靴を着用の訓練を行った 7月BCPについての職員研修は職員にコロナ感染があり延期 「きらっとシニア倶楽部」 介護保険を利用されていない方を対象にゲーム、体操プログラムを実施 「コスモスオレンジカフェ」 軽度認知症の相談、情報交換、交流の場

事業所の概要	追加資料に沿って当事業所の概要、体制等を改めて知っていただきたく理事長が説明
	<ul style="list-style-type: none"> 住み慣れた地域、在宅で暮らし続けられる支援を目的として2007年指定を受ける利用者さんとの間に笑顔で支えあえる関係をつくる等の理念のもと事業を開始 友人、家族が利用者となったのが始まり その経緯により家族的な落ち着いた空気が継続している 職員が長く仕事を続けていけるよう働きやすい職場環境をつくっていききたい

3.その他・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> PR活動の観点からも、看護師の人数、口腔ケアの活動等、紹介したら利用者の増加に繋がるのでは →看護師、喀痰吸引・胃ろうを扱える介護福祉士、管理栄養士等の在籍を外部に向け広報していく カスタマーハラスメントの問題は市役所、包括の協力を得て解決に向かうよう慎重に対応していく 知人から緊急連絡先、鍵を預かっている 非常時に対応できるよう日頃の訓練が重要と実感 『命のカプセル』にかかりつけ医、服用薬、緊急連絡先等を入れ冷蔵庫に保管の旨を表示しておく 緊急時に早急な対応に繋がる これらを福祉総務課、消防署、民生委員にて取り組んでいる コスモスでの昼食は自身で食べるように職員の気長な見守りがあり、今も箸を持ち食事ができている 自宅で可能な限り一緒に暮らしたいという思いが、コスモスの理念と完全に一致し心強く感じている 家族に介護が必要になった知人にコスモスを紹介したい 独居の認知症の方には支援が必要、周囲に協力を呼びかけ対応した コスモスではケアマネが利用者さん、ご家族とも丁寧に話し合い、他施設へ移る希望もスムーズに対応
-------------------	---

※次回 2024年度第3回運営推進会議の予定 9月30日月曜日 13:30～15:00